

ウォーターベストのメンテナンスについて

「空調設備・衛生設備機器の排水用トラップとして御使用頂いている場合」

1. ウォーターベストのメンテナンスの頻度

- ・ ウォーターベストに流入してくる水質に依ってメンテナンスの頻度は変わってきます。
- ・ 空調機のドレン排水では、季節の中間期にはドレン水が流れない乾燥期間になり、冷房期(結露水)と暖房期(加湿水)のドレン水の流れ始めと終わりの年4回をメンテナンス頻度として御提案しています。
- ・ ドレンパンから流れて来るドレン水に含まれるスラッジ・スライム・水垢がウォーターベストのダンパ上面に堆積し、中間期に水分が乾燥してダンパ上で固着する事でダンパ動作不良を起こして空調機のドレンパン溢れ等の事故を起こす事があります。

2. ウォーターベストのメンテナンス方法

- ・ 空調排水系統では、空調機を停止させてウォーターベストを外し、(点検口付きのウォーターベストは内部のダンパを取り出し)ダンパ動作異常の有無を点検してください。

注) 空調機を運転した状態で、ウォーターベストのダンパを開閉するとダンパが変形して動作不良を起こす事があります。

- ・ 衛生排水系統では、流れて来る流水を止めて、ウォーターベスト内部及び、ダンパ上面の異物付着状態を点検し、再度流水してダンパ動作異常の有無を点検してください。
- ・ 空調,衛生排水系統共に、ウォーターベスト迄の上流配管内部の汚染状態も点検してください。
- ・ ダンパ動作異常及び、ダンパ上面に異物の付着が有る場合には、流水下でワイヤーブラシ等を用いてウォーターベストの内部・ダンパ面を清掃してください。

【上流配管系統の内部汚れやドレンパンに堆積している異物を除去してからウォーターベストを清掃してください。】

注) 上記の清掃方法でウォーターベスト内部及びダンパ面の異物が取れない場合には、流入する排水に粘性が有る物質が含まれて固着した事等が考えられます。

この様な物質が付着した状況下では、ウォーターベストの排水性能(封水高さの設定等)に影響を及ぼす事が有りますので、原因を調査して頂き、上流配管等を洗浄した後にウォーターベストの交換を推奨します。

3. ウォーターベストシリーズ毎のメンテナンス方法

1) 配管管末取付用製品の場合

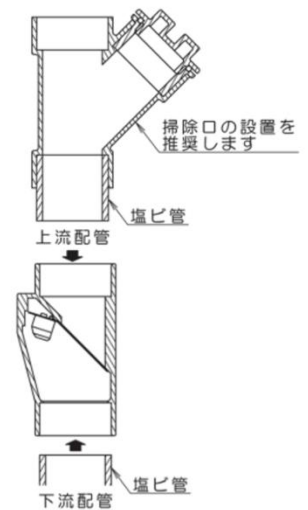
【KB シリーズ・KB II型シリーズ H タイプ・KB シリーズプラス圧タイプ・KP シリーズ】

- ・ 取り外しが可能な製品は、取り外してダンパの動作点検及び清掃を行ってください。
- ・ 取り外しが出来ない製品は、ダンパが露出していますので手指でダンパを開いて動作点検及び清掃を行って下さい。(この時、ダンパに力を加えてダンパが変形しない様に注意してください。)

2) 中間取付用製品の場合

【KWA シリーズ・KWT シリーズ・KW シリーズ】

- ・ 施工時に、右図(例：KW シリーズの場合)に示す様に掃除口を設けて頂く事を推奨します。
- ・ 上流からの流水を止めてダンパ上面及び周囲の異物付着の有無を点検してください。
- ・ 上流からの流水下で上部点検口からパイプブラシ等を差し込んで内部及びダンパ上面を清掃してください。
- ・ 上流から流水して、ダンパの動作点検を行ってください。
- ・ ダンパ面が目視出来ない製品(KWA65 以上、KW125 以上)の場合には、上下の配管に短管とフランジを用いてフランジ接続にして頂くことを推奨します。尚、KW65～KW100 はウォーターベストを透明ソケットに組込んでいますので、透明短管を接続して頂くことで、内部が目視できます。

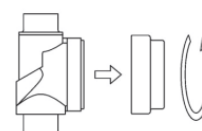


3) 点検口付き製品の場合

【KWA シリーズ・KWS シリーズ・KWY シリーズ】

- ・ 上流からの流水を止めます。
- ・ 右図(例：KWS シリーズ)に示す様に、[キャップ]を反時計方向に回して外し、内部の[リテーナー+ダンパ]を取り出して清掃します。

① [キャップを外す]



② [ダンパ+リテーナーを外す]



- ・ 配管に接続されている[ウォーターベスト本体の内部]及び、キャップに装着されている[O リング]を清掃します。

- ・ [ダンパ+リテーナー]を本体に戻し、[キャップ]を時計方向に回して締めます。

(必ず最後までキャップを締め込んだ事を確認してください。)

- ・ 上流から流水して、ダンパの動作点検を行ってください。
- ・ 詳細は、各取付要領書を参照してください。

4) 点検口付き結露防止製品の場合

【KWC シリーズ・KWAP シリーズ・KWP シリーズ】※KWAP、KWP シリーズは耐候性製品を含む

- ・上流からの流水を止めます。
- ・[キャップ]の上下のツマミ部2箇所を指で外し、左右の結露防止カバーを開く。※カバーは落下しません。この時、[キャップ]は外さず、先にカバーを開きます。また、本体割れの原因になるため、本体を押さえて配管に力が加わらないように注意してください。
- ・[キャップ]を反時計方向に回して外し、内部の[リテーナー+ダンパ]を取り出して清掃します。
- ・配管に接続されている[ウォーターベスト本体の内部]及び、キャップに装着されている[Oリング]を清掃します。
- ・[ダンパ+リテーナー]を本体に戻し、[キャップ]を時計方向に回して締めます。
(必ず最後までキャップを締め込んだ事を確認してください。)
- ・左右の結露防止カバーを閉め、ツマミが引っ掛かるまで締めてください。
- ・上流から流水して、ダンパの動作点検を行ってください。
- ・詳細は、各取付要領書を参照してください。

5) ウォーターベストが取り出せる製品の場合

【MB シリーズ・MP シリーズ・HB シリーズ・SB シリーズ】

- ・流水を止めて筐体内部のウォーターベストを取り出してダンパの点検及び清掃を行ってください。
- ・MB シリーズ・MP シリーズは、目皿金具の上部目皿を外すことにより、ウォーターベストが取り出せます。
- ・HB シリーズ・SB シリーズは、取付要領書を参照にしてウォーターベストを取り外してください。

以上、メンテナンスを行って頂くことによって防虫・防臭トラップとして安全に御使用いただけます。